

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	ながおか医療生活共同組合	代表者	羽賀 正人	法人・事業所の特徴	長岡市内で複数の診療所や多数の高齢者施設を運営する医療生活協同組合が平成19年に開設した小規模多機能型居宅介護施設である。認知症対応型共同生活介護が併設されている他、同じ法人の介護付（混合型）有料老人ホームも隣設されており、互いに協力・連携して運営されている。また、経営母体の診療所とは日頃から緊密な連絡をとり情報を共有し、適切な医療が受けられるよう支援している。
事業所名	プラット笹崎	管理者	田中 太一		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	1人	1人	1人	0人	1人	1人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スタッフ評価や事業所評価項目に対する職員の理解度（異動・介護経験年数）に差があるため、評価前に学習会を開催する。</li> <li>●利用者家族アンケートを実施し、その結果から業務改善に繋げる。（3月、8月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習会を開催し、評価項目を全職員が理解した上で評価を行った。</li> <li>●利用者家族の率直な意見をお聞きし、提供するサービスにおいて不足している点を確認し、更なる充実を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現実的で短期間に結果が出て、評価しやすい計画であることが良いのではないかと。</li> <li>●人事異動が多いようですので、職員が評価を理解しやすいよう評価前の学習会は継続した方が良いと思う。</li> <li>●改善計画に取り組みなかった計画は、継続し実践して欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スタッフ評価や事業所評価項目に対する理解を深めるため、評価前に学習会を開催する。</li> <li>●改善計画の取組み状況を、月1回、事業所会議にて確認し確実に実施する。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ホールや玄関などの壁面に季節に応じた飾り付けを行い心地よい空間を意識する。</li> <li>●ホールや居室から四季を感じられるよう、季節の植物を花壇に植える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用者・家族アンケートの意見を元に、利用者が過ごしやすい環境を整備した。</li> <li>●菜園を開設したり、季節の植物を植え、利用者から四季を感じていただいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●菜園や季節の植物を花壇に植えたことで外部の方も四季が感じられ風通し良くなった。また、近所の小学生が水やりに来られている姿を見て、事業所と良い関係性が築けていると思った。</li> <li>●コロナの影響により、施設に伺えないため様子は分からないが、家族アンケートから居心地の良い環境と思われそうです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●清潔で明るく開放的な事業所になるように、事業所内の掃除や野外の景観を損ねないように管理していく。</li> <li>●四季折々の植物を花壇などに植え、地域の方々が気軽に立ち寄れる環境を整備する。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業所の概要を掲載した広報誌やPR誌を回覧し、地域の身近な事業所である事をお知らせする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域向け広報誌を年4回発行し、事業所の取組みを報告すると共に相談窓口として気軽に活用していただいた。（サービスの利用に繋がった。）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の方との話の中で、事業所の話題は出ていないため、地域の方から知られていないと思う。</li> <li>●コロナの感染防止を考えると、地域の行事への参加は控えた方が良いのではないかと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域向け広報誌に事業所の概要を掲載し、地域の身近な事業所である事をお知らせする。</li> <li>●地域の方を対象にした認知症カフェや地域食堂の運営に協力するとともに利用者と職員が参加し、地域との関係を築き上げる。</li> </ul>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用者個々が暮らしている地域への外出や外食を企画する。</li> <li>●利用者を支えて頂いている近隣の方へ、訪問や送迎時、積極的に挨拶し関係作りに努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、「地域への外出、外食」は控えた。</li> <li>●訪問や送迎時、利用者個々が住まわっている近隣の方から挨拶して頂けるまでの、関係となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用者の方々は地域への外出・外食を楽しみにしていると思います。コロナが落ち着いたら、ぜひ企画して欲しい。</li> <li>●会議資料から外出している事を確認した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●運営推進会議には職責の他、地域連携班も参加し、地域のイベント等の情報を収集し利用者と職員が参加できるように努める。</li> </ul>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●困難事例や事業所で新たな取組みをはじめようとする際、運営推進会議で報告し、助言をもらう場とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●運営推進会議に寄せられた提案や意見を、月1回開催の部署会議で検討し実践した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コロナの影響により書面での開催のため仕方ないが、会議が報告や情報交換にとどまらず率直な意見をもらい、具体的に活かす事が大切と思う。</li> <li>●運営推進会議で家族の困りごとなどあれば、話し合えると良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●運営推進会議の案内、会議録を家族に配布し、案内には意見や困りごとを記載する欄を設ける。記載内容を会議にて報告し検討する。</li> </ul>

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業所で実施する「AED 講習会」に地域の方にも参加してもらえるよう、地域向け広報誌にて案内する。</li> <li>●原子力災害に備えマニュアルを整備する。原子力災害時避難訓練を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、「AED 講習会」の開催を中止した。</li> <li>●原子力災害マニュアルを整備した。原子力災害屋内退避訓練を実施し、行動手順を確認した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刈羽原子力発電所から長岡までは30km圏内であり、災害に備え訓練を続けて欲しい。</li> <li>●コロナの影響により運営推進会議が書面での開催となり、新しい防災計画は確認していない。避難訓練に参加した事がない。</li> <li>●災害時、事業所がどのような役割となるか、地域の方に示していく必要があると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業所で実施する「防災訓練」「AED 講習会」に地域の方にも参加してもらえるよう、地域向け広報誌にて案内する。</li> <li>●原子力災害時避難訓練を継続し実施する。</li> </ul>
----------------------------	--	--	--	--